

7月2日 七滝 → 焼走リコース
 岩手山登山に行ってきたよ!



▲ 山頂付近、お鉢巡り

実は毒があるよ!!

コマクサ

ピンクでかわいかった〜!!
 岩手山は日本最大級の
 コマクサ群生地。
 約2キロにわたって、登山道
 沿いにコマクサのお花畑が
 広がっています。7月いっぱい
 見られます。



今日の
 山頂は
 猛烈に強風だった??

登山者はみんな、髪の毛ぼさぼさになりながら、記念写真を撮りました。



▼焼走リコース、コマクサ群落



▲山頂 2038m



▲不動平避难小屋

ガスを吸いすぎない
ように、さっと
登りたい所です。
がんばりましょう!!



平笠不動
避难小屋



▲お花畑 ↔ 不動平の林の中



大地獄谷

黒倉山山頂
▲ 1570m



湯華採取跡



今日のコース

(今日はゆっくり12時間かけて歩きました。)

七滝近くまで車で移動

- 七滝林道 → 七滝 → 一服峠 → 湯華採取場跡 → 大地獄
5:20 → 5:30 → 5:50 (休憩) 5:55 → 6:40 → 7:10 →
- 大地獄分岐 → お花畑 → 御釜湖 → 御苗代湖 → お花畑
7:30 (休憩) 7:40 → 8:20 → 8:35 → 8:40 (休憩) 8:55 → 9:10 →
- 不動平避难小屋 → 山頂 → 平笠不動避难小屋 → ツレハシ分岐
10:20 (お昼) 10:45 → 11:50 (写真休憩) 12:15 → 12:50 (休憩) 13:00 → 13:50
- 第1噴火口 → 焼走リ登山口
14:30 (休憩) 14:40 → 17:00

※今日は休憩をたくさん入れて、写真を撮りながら登りました。個人で普通のペースで歩いた場合、9~10時間で歩くことができます。



▲御釜湖



▲御苗代湖

でんどう 田頭鉱山跡

岩手山七滝コースの大地獄谷にはかつて「田頭鉱山」という硫黄鉱山がありました。1903年(明治36年)頃には採掘が本格化しており、昭和初期に最も盛んに採掘されました。七滝コースには当時硫黄を流すために使われた土管が処々に残っています。

地獄を登ってるよ。

大地獄谷はいつも湯気を上げて活動しています。地表に見える黄色いところは硫黄の結晶です。



岩手山登山のおもいで

うわ...7マさんが...

くまさんのひっかいたり、かじったりした跡いっぱい。新しい材木のニスやペンキのにおいが気になります。



ウォーターライダーできそう。

湯華採取場の少し手前見える滝。この水が流れ下って七滝にたまり、やがて松川に合流します。



どこか知らない星みたい

岩手山山頂のお金本です。「薬師岳」と「妙高山」という名前のピークがあります。



クロサンショウウオのたまご



まだ咲いてるよ。

今日は7月2日。麓の桜は2か月前に散りましたが、岩手山のミネザクラは今が花盛り。

温泉の川

大地獄谷の少し下を流れるこの小川。さわってみるとあったかい。登るにつれて温度が高くなります。



雲より

高いとこに来た。

この日はものすごい強風で、歩いていると小石が飛ばされてくるくらい。雲がどんどん流れます。



ここに登ったのか...

平空不動避難小屋から見上げた山頂。雲が切れて一瞬姿を見せてくれました!!





▲ イワウメ



▲ イワテハタザオ



▲ イワヒゲ



▲ ウコンウツギ

▼ 大地獄谷手前のイソツツジ



シラネアオイ▶

▼ ミネズオウ



▼ ムシヒスミレ



▲ イワカガミ



▲ ミヤマキンバイ



▼ ヒナザクラ



▼ ハクサンシャクナゲ



▼ コマクサ



▶ ムラサキヤシオ



▲ ハクサンチドリ

きいろいスミレ のなかまたち

▼ オオバキスミレ

▶ タカネスミレ



▼ キバナノコマナツメ

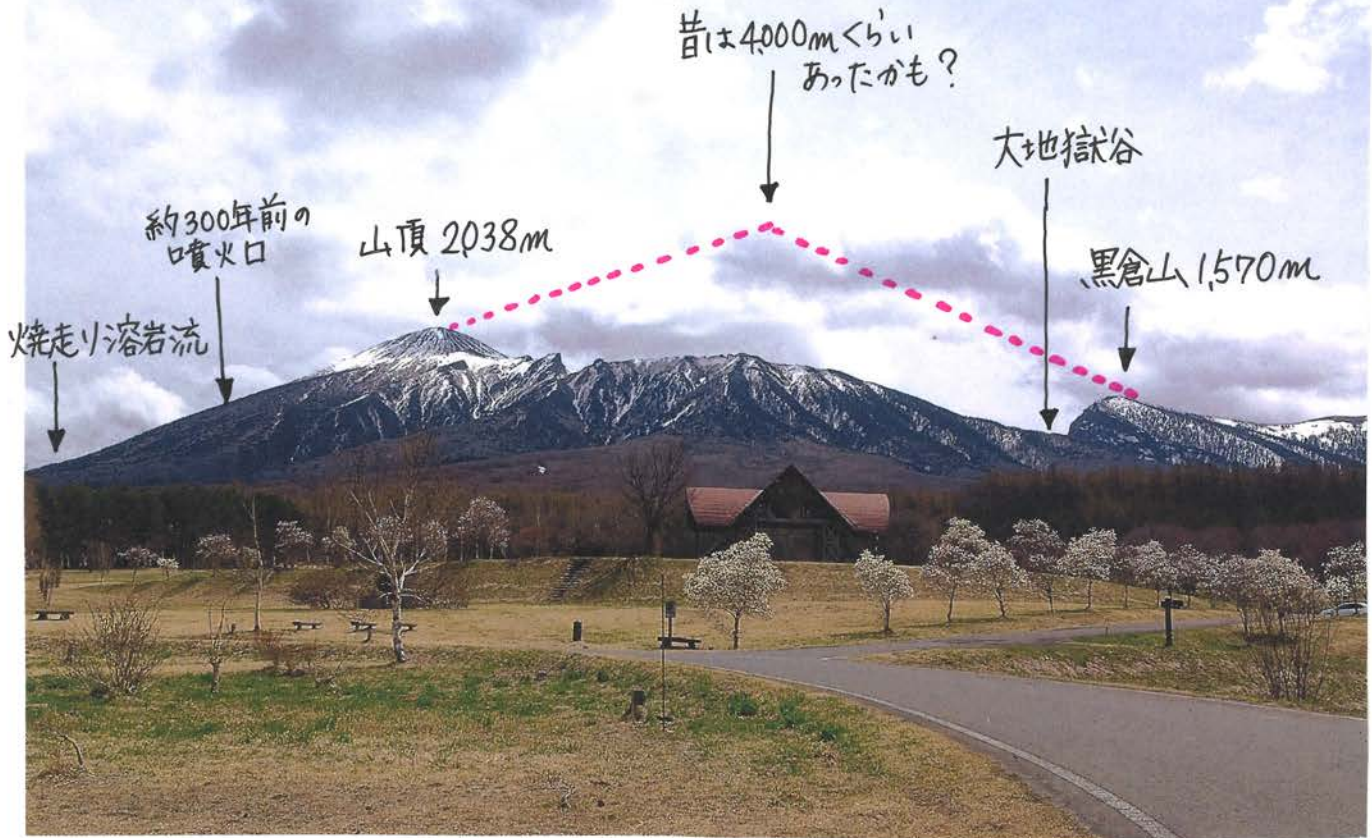


サンカヨウ
雨にぬれるとお花が
透明になるよ

岩手山の歴史



◆ 岩手山が誕生したのは70万年前といわれています。12,000年～2,000年前に東(現在の山頂付近)と西(現在の大地獄谷や黒倉山付近)に分かれての噴火がはじまりました。



大昔は**4,000m級**、
富士山より高かったかも!

岩手山の噴火が記録として残されているのは1686年から1934年までの間です。
1719年(享保4年)のお正月(旧暦なので2月)に岩手山の中腹から噴出した溶岩で、現在の焼走り溶岩流ができたといわれています。
※最近の研究では、1732年という説もあるそうです。
地層の分析によると、記録が残されていない大昔、4,000年～6,000年前は、岩手山は富士山よりも高いお山で、大噴火によって山体崩壊(山が全部吹きとんじやった。)して今の姿になったそうです。

岩手山に関する
昔の記録によると

- 1686年: たくさんの灰が降り、(江戸) 北上川が泥流洪水になった。
- 1687年: 昼夜とも地震が続き(江戸) 泥流や溶岩も流出した。
- 1732年: 中腹から溶岩が流れて(江戸) 焼走りができた。
- 1919年: 水蒸気爆発がおこり(大正) 火山灰が10cm積もった。